

雨天時浸入水対策ガイドライン策定検討委員会

設 置 趣 旨

分流式下水道を採用している都市において、高強度降雨の増加、施設の老朽化の進展、地震等の被災、下水道接続率の向上による施設の余裕の減少等に伴い、降雨時に下水の流量が増加し、汚水管等からの溢水や宅内への逆流等が発生している。

このため、雨天時浸入水は、下水道を管理する地方公共団体にとって解決すべき課題であると認識されているものの、必ずしも十分な対策がとられているとは言えない状況である。

これらの状況を踏まえ、分流式下水道における雨天時浸入水に関する具体的な課題を整理するとともに、効果的・効率的な対策等について検討し、雨天時浸入水対策ガイドラインを作成することを目的として、本検討委員会を設置するものである。